令和５年度第７６回　栃木県中学校総合体育大会（ソフトテニス大会）要項

１　日　　時　令和５年７月７日（金）・15 日（土）個人戦，８日（土）団体戦，９日（日），16 日（日）予備日
※1 個人戦は１日目にベスト８まで，２日目に準々決勝以降および順位決定戦を行う。
※2 ７日が延期の場合は，９日に個人戦を行う。
７日に個人戦を実施し，８日が延期の場合は，９日に団体戦を行う。
７，８日が延期の場合は，９日･15 日に個人戦を行い，16 日に団体戦を行う。
受　付　完　了　午前８時 35 分　開　　会　　式　午前８時 45 分
試　合　開　始　午前９時 00 分

２　会　　場　石川スポーツグランドくろいそテニスコート（那須塩原市上厚崎６６４）

３　参加資格　大会出場規定に則った選手であること

４　競技規則　（公財）日本ソフトテニス連盟　ソフトテニスハンドブック，及び大会出場規定に準ずる

５　申込方法　大会出場規定に従って行う

６　団 体 戦　(1)参加組数

男子	基 本 校 数	宇河・下都賀-5, 那須-3, 日光・芳賀・佐野・足利-2
（２９校）		鹿沼・塩谷・南那須-1
	推　薦　校	南河内（下都賀）, 星が丘（宇河）, 益子（芳賀）, 野木（下都賀）
	前年度優勝校	姿川（宇河）
女子	基 本 校 数	宇河・下都賀-5, 那須-3
（３０校）		日光・芳賀・塩谷・佐野・足利-2, 鹿沼・南那須-1
	推　薦　校	芳賀（芳賀）, 河内（宇河）, 西那須野（那須）, 今市（日光）
	前年度優勝校	芳賀（芳賀）

(2)その他
・関東中学校ソフトテニス大会への出場校（チーム）は，本大会の成績により決定する。
・本大会の優勝校には，次年度本大会への出場権を与える。出場権が重複した場合は，当該地区内での補充を認める。
・本大会組み合わせのシードは，前年度栃木県中学校新人体育大会ソフトテニス大会での上位入賞校の所属する地区に与える。
・推薦校とは前大会ベスト４に入賞した中学校をいう。

７　個 人 戦　(1)参加ペア数

男子	基本ペア数	宇河-18, 下都賀-17, 那須-10, 佐野・足利-7
（８８ペア）		芳賀・日光-5, 鹿沼・塩谷-4, 南那須-3
	推　薦　数	宇河-3, 下都賀-2, 那須・塩谷・足利-1
女　子	基本ペア数	宇河-17, 下都賀-16, 那須-10, 芳賀・足利-7
（８９ペア）		佐野・日光-6, 塩谷-5, 鹿沼-4, 南那須-3
	推　薦　数	宇河-5, 芳賀-2, 日光-1

(2)その他
・関東中学校ソフトテニス大会への出場ペアは，本大会の成績により決定する。
上位１６ペアとする。ただし、開催市（那須塩原市）が２ペアの出場権をもっているため、開催市が上位１６ペアに入らなかった場合は、代表決定戦を実施する。
・本大会組み合わせのシードは，前年度栃木県中学校新人体育大会ソフトテニス大会での上位入賞ペアの所属する地区に与える。
・推薦数とは新人大会ベスト８に入賞したペアの所属する地区に与えられる数をいう。

８　試合方法　大会出場規定に従って行う

９　安全対策　大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については，栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及び EAP シート」に則り適切に対応する。

10　代表者会議　(1)日　時　６月 29 日（木）午後１時から
(2)場　所　那須塩原市立西那須野中学校
(3)議　題　組み合わせ，大会細部打ち合わせ
(4)その他　抽選は地区委員または出場団体の代表者が行う

令和５年度　栃木県中学校新人体育大会（ソフトテニス大会）　要項

１　日　　時　令和５年10月13日(金)団体戦，14日(土)個人戦，16日(月)，17日（火）予備日
　　受　付　完　了　午前８時35分
　　開　　会　　式　午前８時45分
　　試　合　開　始　午前９時00分

２　会　　場　栃木県総合運動公園テニスコート(宇都宮市西川田４丁目１－1)

３　参加資格　大会出場規定に則った選手であること

４　競技規則　(公財)日本ソフトテニス連盟　ソフトテニスハンドブック，及び大会出場規定に準ずる

５　申込方法　大会出場規定に従って行う

６　団 体 戦　(1)参加組数
　　男子　　基 本 校 数　宇河・下都賀-5，那須-3，日光・芳賀・佐野・足利-2，
　　（２５校）　　鹿沼・塩谷・南那須-1
　　前年度優勝校　南河内小中(下都賀)
　　女子　　基 本 校 数　宇河・下都賀-5，那須-3，
　　（２６校）　　日光・芳賀・塩谷・佐野・足利-2，鹿沼・南那須-1
　　前年度優勝校　芳賀(芳賀)
　　(2)その他
　　・本大会のベスト４の学校には，次年度栃木県中学校総合体育大会ソフトテニス大会の出場権を与える。出場権が重複した場合は，当該地区内での補充を認める。
　　・優勝校には，次年度本大会への出場権を与える。出場権が重複した場合は，当該地区内での補充を認める。

７　個 人 戦　(1)参加ペア数
　　男子　　基本ペア数　宇河-18，下都賀-17，那須-10，佐野・足利-7，
　　（８０ペア）　　芳賀・日光-5，鹿沼・塩谷-4，南那須-3
　　女子　　基本ペア数　宇河-17，下都賀-16，那須-10，芳賀・足利-7，
　　（８１ペア）　　佐野・日光-6，塩谷-5，鹿沼-4，南那須-3
　　(2)その他
　　・本大会の上位８ペアの該当地区には，次年度栃木県中学校総合体育大会ソフトテニス大会への出場権を与える。
　　・本大会の組み合わせのシードは，今年度栃木県中学校総合体育大会ソフトテニス大会での上位入賞ペアの所属する地区に与える。

８　試合方法　大会出場規定に従って行う

９　安全対策　大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については，栃木県中学校体育連盟「危機管理マニュアル及びEAPシート」に則り適切に対応する。

10　代表者会議　(1)日　時　10月３日(火)　午後１時から
　　(2)場　所　那須塩原市立西那須野中学校
　　(3)議　題　組み合わせ，大会細部打ち合わせ
　　(4)その他　抽選は地区委員または出場団体の代表者が行う

令和５年度　栃木県中学校体育連盟ソフトテニス専門部　大会出場規定

団体戦・個人戦共通

１　試合規則

（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック（以下ハンドブックとする），及び大会出場規定による。

２　使 用 球

ケンコーまたはアカエム(共に白色公認球)の指定制とする。

総合……団体戦は**アカエム**，個人戦は**ケンコー**

新人……団体戦は**ケンコー**，個人戦は**アカエム**

３　申込方法

別紙申込用紙により各所属長から地区委員を通して申し込む。地区委員は代表者会議時に出場校の申込用紙をまとめて提出する。なお，申込用紙は団体戦，個人戦別に提出する。その際，本大会のプログラム及び報道発表並びにホームページにおける氏名・団体名・学年・写真等の個人情報の掲載については，本人及び保護者の同意を予め得ておく。なお，同意が得られない場合は，その旨を申し込み用紙備考の欄に明らかにしておく。

４　服　　装

（１）　ユニフォームについては，上は半袖ゲームシャツ，下は膝より上のパンツ・スコートを着用すること。ただし，服装は華美にならないようにする。ノースリーブやワンピースは認めない。長袖やハイネックのアンダーシャツ，スパッツ等の着用を認める。アンダーシャツ，スパッツの色は白・黒とする。競技中，袖をまくることはしない。また，ユニフォームには文言や記号を後から記入もしくは印刷し，使用してはいけない。

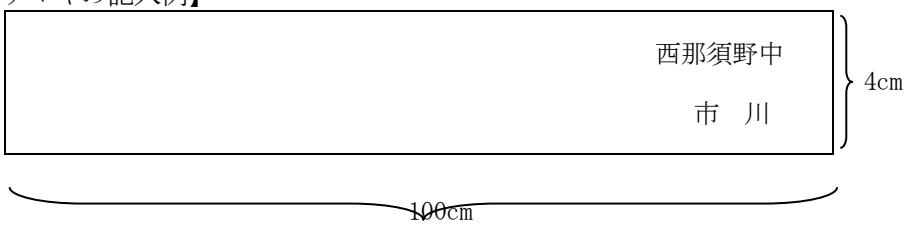
（２）　栃木県Ｔシャツで出場することを認める。ただし，背ゼッケンは付けること。

（３）　ハイソックスは認めない。

（４）　テニスシューズを着用する。

（５）　ハチマキには，正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し，使用してはいけない。ただし，ハチマキの端の部分に「団体名・名前」を記入してもよい。帽子，サンバイザーもこれに準じる。

【ハチマキの記入例】



（６）　背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し，背中の中央につけること。ただし，四隅を留めるものとする。（安全ピンは利用可。）

①　ゼッケンは，B5判横（白地）の大きさの布に，県名，姓，団体名を記述する。シャツそのものへの刺繍・プリントは認めない。

②　ゼッケンの文字は，「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し，文字色は「黒」とする。

③　ゼッケンの文字の位置は《例１》の通りとし，同一校に同姓の選手がいる場合には，どちらかの選手が《例２》のように名前の一部も付け加える。

④　中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には，学校名を分かりやすくするために，《例２》のように学校所在地を付記してもよい。また，学校名の後に「中」の文字を必ずつける。ただし，学校名に「中」がつかない場合はこの限りではない。

⑤　クラブ名は，大会申込書に記入したものと同様にする。

⑥　次の図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

【ゼッケンの記入例】《例１》　　《例２》

（６）　その他

①　所有者を表示する場合を除き，ウェア・用具類への文字や記号の書き込み，印刷，刺繍は禁止する。また，選手の腕等へのペイント，文字の書き込みは禁止する。

②　装飾品を身につけての出場は禁止する。

③　医療器具（サポーター，テーピング等）の使用を認める。ただし，サポーター・テーピング類の色は白・黒・ベージュとする。

④　使用する用具は服装と同様に華美にならないものとする。（ラメ入りやリボン・フリル等は華美とみなす。また，靴や靴紐，安全ピン等の左右を色違いにすることは華美と見なす。）

⑤　ストリングの色は縦横同一色とすること。

５　選手について

（１）ハンドブック及び大会出場規定に従い，フェアプレーに終始する。
（プレーヤーの心得については競技規則第 17 条を守る。）

（２）試合前は所定の位置で待機する。ウォーミングアップのために離れてもよいが，前試合の進行に注意する。

（３）プレーヤーのかけ声は１，２回程度にとどめる。審判のコールの際には発声しない。

６　監督(部活動指導員(注１)を含む)について

（１）監督は団体戦・個人戦ともに１名とし，必要に応じてベンチ入りする。マッチ中のコーチは，サイドのチェンジおよびファイナルゲームに入る場合に行うことができる。（ただし，コーチは指定位置(ベンチ)で行い，ゲーム終了後１分以内に次のゲームが開始できるようにする。）

（２）監督は，必ずテニスシューズを履く。

（注１）「部活動指導員」とは，学校教育法施行規則第 78 条の２に示されているものをいう。

７　外部指導者について

（１）外部指導者とは，該当校長が人格・指導面において優れていると認めた成人(20 歳以上)である。また，学校の教育方針に基づき，顧問教員の指導計画に従い，日頃から指導にあたっており，公式試合の遂行ができる者をいう。

（２）中学校の教職員は，外部指導者としては認めない。

（３）規則違反・不適切な言動等があった場合は，注意を喚起し，従わない場合は退場させる。
その場合直ちに引率教員が監督を行うようにする。その後，専門部長から当該校長に連絡をする。

（４）団体戦は，コーチとして，１チームに対し１名を登録することができる。
個人戦は，コーチとして，出場ペア数分の登録をすることができる。申込書に記載してあるコーチは，いずれのペアのベンチにも入ることができる。

８　応　　援

（１）プレーの支障にならないように，フェアな態度で行う。

（２）集団での応援・かけ声は，過度にならないようにする。

（３）相手を不快にする応援(例：いかく，ののしりなど)は禁止する。

（４）審判のコール時，または，プレー中の応援は禁止する。

９　審　　判

（１）審判に当たっては，ハンドブックの内容をよく理解し，公平かつ正確に判定するよう心がける。特に正審，副審の判定区分を守る。

（２）コールははっきりと大きな声で行う。

（３）「注意の喚起」(ソフトテニス審判規則第 19 条)，「警告」(ソフトテニス審判規則第 20 条)を必要に応じて厳正に対処する。

（４）団体戦の審判は特別な場合を除いて，必ず割当団体の監督・コーチが行う。また，審判委員長からの指示があった場合は，線審をつけるコートもある。

１０　その他

（１）栃木県中体連ソフトテニス大会の参加事項の詳細については，栃木県中体連ソフトテニス専門部会議及び大会代表者会の指示に従う。

（２）マッチ中の体調不良については，パートナー（監督・コーチ）以外のものから手当を受けてはいけない。(ただし，緊急の場合はこの限りでない。)

団体戦

１　参加資格
（１）チームは、同一団体に所属し，１チーム４ペア以内の編成とする。
（２）地区予選または推薦によって選ばれた地区代表である。

２　試合方法
（１）トーナメント戦７ゲーム，３ペアによる対戦
（ただし，ゲーム数については地区委員の協議により変更するコートもある。）
各チーム最初の試合は３ペアとも試合を行う。各チームの２回目の試合からは２ペア先取とする。
（２）２面，３面展開で行うコートがある。
（３）オーダーは試合ごとに変更できる。
（オーダーはフルネームで記入し，審判は選手名をゼッケンで確認する。）
（４）オーダーは整列前に，コート場で審判に提出する。

３　監督(コーチ)・選手の位置
（１）監督(コーチ)は，原則としてベンチに座る。
（２）１面展開で行う場合のみ，選手が座るためのベンチを持ち込むコートを認める。
（３）２面展開で行う場合，両コートの間の中央に位置し，１面・２面のアドバイスをする。
３面展開で行う場合，真ん中のコートに位置し，２面展開に準ずるものとする。

４　選手変更
（１）申込後に選手を変更する場合には、「選手変更届」を各団体より地区委員を通して、原則として当日の受付終了までに大会本部に届け出る。

個人戦

１　参加資格
（１）ペアは同一団体に在籍し，地区予選または推薦によって選ばれた地区代表である。

２　試合方法
（１）トーナメント戦７ゲーム（マッチ前の練習は各ペアの初戦のみ行う）
（ただし，ゲーム数については地区委員の協議により変更するコートもある。）

３　監督(コーチ)の位置
（１）監督(コーチ)は，原則としてベンチに座る。

４　選手変更
（１）１名が病気等で出場不可能となった場合には，「選手変更届」を各学校より地区委員を通して，原則として当日の受付終了までに大会本部に届け出る。
（２）２名ともが出場不可能になった場合には，棄権扱いとする。